第百七十九號　NAMBEI SHIMPO　31 de MARÇO de 1938

南米新報

サンパウロ市ピーレスダ
モツタ三一八番地
發行所 南米新報社

購讀料 一年 二三ミル
廣告料 一段 六〇ミル

Dr. Seichi [illegible]
[illegible] 409
Capital

清 東麒麟
東鳳
GOTO & CIA
Caixa 528-S.PAULO

言論

# 優しいゼ大統領

## 穰る程頭を下ぐる稲穗かな

△

本月廿六日リオ市から發行した『デアリオ、ダ、ノイテ紙』に MUITO OBRIGADO, AMIGO DR. GETULIO と題し次の如くめづらしい記事が載つてゐました、最初は何んでもない記事だと思つて二三行讀んで行くうち筆者はつい感心して終りまで入念に讀まされました、和譯して見ると大體こんな事でありました『今を時めく伯國現大統領ゼツリオ氏は毎朝官邸を出てシダーデを、たつた一人の侍從（平服の）を伴なひぶら〳〵散歩して廻る習慣で、散歩を終ると何處からでも行き當りばつたりタキシー（辻車）をひろつてアルモツソにグアンナバラの官邸へ歸るのが普通であるが、タキシーの運轉手へは極めて慇懃な態度でやさしい言葉をかけ、何かと世間話をされる、その平民的な温情溢れる物腰に誰にだつて之れが大國の大統領だとは思はれない程で、ショフエイロに對しても決してゼツリオ氏は横柄に『ヴオツセー』などと言つたことがない、必ず『セニョール』と呼ぶので、一度、氏の御用を承つたショフエイロは皆が皆異口同音にゼツリオ氏の徳を讃歎して居る。

△

そこで記者は其のショフエイロ諸君の感想を訊くことにし先づデリビイ、クラブの前で客待をしてゐるタキシー OAKLAND 1879 のオスカール君を捕へて聞ゐて見た、同人の曰く

大統領に對する私の印象は他のどのお客よりも好い、普通の客は私達には一寸物を言つて呉れんがゼツリオ氏は少しもエラ振らず私達を同等の人間に扱つて、否、寧ろ勿體ない位丁寧な態度で何かと話して呉れます、先日私はガレリアの前に車を置いて居ますとアベニーダを横切つて大統領は平服の侍從と二人で私の車のところへお出でになり乘られた、此場合大概の人間はアベニーダの向側に居るのだから手か口かで合圖をして車を呼びますが、ゼツリオ氏は決してそんな事はされないから恐縮します、私が車の扉を開けてお載せすると『ルア、パイサンヅー』と命ぜられる、パイサンヅーと云へば官邸の所在地と承知し其方へ車を進め初めると、こんな會話が大統領と私の間に始まりました。

大『景氣はどうかね？』

私『閣下、此頃の景氣は好くありません』

大『ではお客が少ないと云ふのですね』

私『左樣です、閣下』

それから數秒の後

大『此車は大そう良いが君のですか？』

私『イイエ、之は主人の車です』

大『では君は主人では無くて雇人ですか？』

私『左樣です閣下』

大『月給で働いて居るのですか？』

私『毎日稼ぎ高の二割が私の儲けです』

大『一日に幾ら稼ぎますか？』

私『平均五十ミルです』

そこで大統領はいぶかしそうに口を開き

大『それでは君は月にたつた三百ミル儲けると云ふ譯ですね？』

私『そうです』

是れに對して閣下は別に何も私に言はれなかつたが鏡に映つた樣子では、ショフエイロもそれぢややり切れないだらうと侍從に話して居られたやうです、そして又私に家族は有るか何人あるかと問ひイルマンがあると答へると、それでは仲々きついだらうと言はれて慰められました。

次に他の辻待車の運轉手に就て尋ねると、私に對する大統領の最初の質問は、

大『君は伯國人ですか』

私『左樣です』

大『何處で生れました』

私『カンポス郡です』

大『お名前は？』

私『ジョアン、ソアレスヴイエラと申します』

大『年齡はお幾才？』

私『もう卅七才になりかけてゐます』

まあこんな樣な事で更に兵役關係なども色々尋ねられました、そして官邸に着いた時『幾らになりますか』と言はれたタキシイメートルは六ミルボウコでしたが大統領は十ミル札を出され『オ、トロツコ、エ、パラ、オ、セニョール、アミーゴ、ジョアン……』と言ひつ、ニコ〳〵して去られました、大統領から私の樣なもの、名前を呼ばれその上『アミーゴ』と言つて戴き無上の光榮を感じて居ります。

△

讀者諸君はこの記事を見て何う感じられましたか、さすが一國を治めて行く大統領は違つたものだといふ感慨が如何にも深いではありませんか、私達がゼツリオ大統領から敎へらる、處は大きい、斯の記事に感激して居る私達南米新報社同人は、邦人社會で威張つてはならない政府補助の文化機關に勤務して居る人物が往々にして滅茶苦茶威張りたがつて仕樣がないと云ふ噂を聞ゐて憤慨してゐましたが、事實つい數日前の話大正小學校の廣告料の事で本社の社員が敎育普及會の會計係に用事が有つて出かけた處、その係と云ふ仁の横柄で不親切な態度に大概の事にはガマン強い社員もカン〳〵になつて歸社しました、言葉遣ひの乱暴な点人を眼下に見くだす点は日本の昔の『お巡りさん』が交番で誰れかを叱りつけて居る態度、余り事が小さいことだから一々詳しい事は披露しませんが（若し此の記事に對して文句があるなら何時でも其事實を有りのまゝ發表しても宜ろしい）僅か一二の者の斯うした不遜と不親切で『會』當局者全部が斯くあるかと思はれ勝ちなもので、敎育普及會が敎育不及會となつては大變ですから一應こゝに御注意申上て置き、兎に角、日本人社會ではチト財産が出來るとか、お役所風な處に働くとかすると直ぐ『普及會のそれ』を眞似たがつていけません『穰るほど頭を下ぐる稲穗かな』實にゼツリオ大統領が好いお手本を目前に示して居られます、みんなが互に尊敬しあひ親切をつくして接したなら、どんなにか氣持のよい明るい朗らかな社會になることでせう。

無暗に威張り散らして、横柄な態度を好む人間には是れからゼツリオ大統領の爪の垢でも拜領し、それを煎じて飮ませることに致しませう。

---

# 負け措しみの強い將介石を

# 腹の黑い蘇聯が煽動

## 國防充實の爲めに第三次五個年計畫

## 我は身中の蟲撃滅が急務

【東京發】蘇國は此の一九三八年に於て何を爲すべく意圖してゐるであらうか？今モスコーに於て發行されてゐる各官傳用機關新聞の一月一日號所載論文に一亘り目を通して見ると此の意圖が大體窺知されるやうである。先づ第一に意圖されてゐることは

第三次五ヶ年計畫の實施である。農業人民委員部機關紙ソチアリスチーチエスコエ・ゼムレデーリエは第二次五ヶ年計畫の終了を報告し『一九三七年十二月三十一日を以て第二次五ヶ年計畫の最終日とする旨宣言されてゐる』と述べ重工業人民委員部機關紙インドウーストリヤは『第三次五ヶ年計畫案の作製は、まだ完了してゐないが然し一九三八年は『スタハーノフの年』と宣言されてゐる。何故か？何故かといへば蘇國の工業作業を一九三七年に比し十五パーセント方高める必要があるからである之により政府は勞働賃銀を高め、勤勞者の境遇を改善する可能を見出すであらう一九三八年に於て國民の爲すべきことは

スタハーノフ式勞働水準に達することである』と論じてゐる。次に意圖されてゐることは國際關係に於ても國內關係に於ても益々反ファシズム鬪爭を強化することである此の點に關し蘇國共產黨機關紙プラーウダは『一九三八年の國際的情勢は、吾人に對し更に敏感なる覺醒を要求してゐる。それはファシーストが新たなる戰爭を點火してゐるからである。從つて一九三八年は蘇國の國防力を更に強化する年となるであらう。凡ての力と凡ての可能性とは、悉く兵力高上のために集中さるべきである』と說き國防力の充實を強調してゐる

次に蘇國當局者は、昨年その最高點に達したかの如くに見へた國內反對分子の清掃をなほも繼續せんとする意圖を有してゐる。之は蘇國の對內的對ファシスト政策を示すもので敎育人民委員部機關紙ウチーテリスカヤ、ガゼータ紙の如きも『ファシーストは宜しく一九三七年を強記し置くべきである同年スターリンの選んだ素晴らしい內務人民委員エジョーフは、全國民の援助によつてトローツキイやブハーリンの徒黨に屬する殺人者密偵等の不逞團を掃滅してしまつたからである、蘇國の對內政策に於て社會主義は完全に勝利した。社會主義の敵は

最早一人も起ち上り得ない。なほ吾人は蘇國經濟の領域に於ても社會主義の決定的勝利を認めることが出來る。然し文化の範圍に於ても社會主義が勝利したと言ふのはまだ尚早である。從つて一九三八年は共產黨と政府とがソヴエートの公民の意識からも資本主義の殘骸を取り去るために鬪ふ年でなければならない。エジョーフに負擔せしめられた任務の範圍と境を接してゐる此の文化の領域に於て今後は幾多の爲すべきことがある』と警告してゐる。以上算へた最も重要な意圖は、去る一月十二日からモスコーのクレームリン

城內に於て開催された第一回最高ソヴエート會議に於ても強調され承認された所で、一九三八年に於ける蘇國の對內外政策は主として此の線に添ふて押し進められるものと見なければならない、即ち第三次五ヶ年計畫の實施、反ファシーズム鬪爭、國防力充實、國內清掃、思想統一、文化水準の高上といつたやうな事が、一九三八年に於ける蘇國の對內外政策の中心となるであらう。

### 赤露國防の充實と平和への不安

斯くの如き問題は蘇國の政策幹線としては勿論目新らしいものではなく、たゞ從來の政策の踏襲に過ぎないもの、如くであるが、其の段階から言ふと

確に一段の上昇であつて、蘇國が對外的に與へる脅威も亦一段と上昇線を辿るものと覺悟しなければならない。特にその中でも蘇國の反ファシーズム鬪爭の強化と國防力の充實とが對外的に及ぼす影響は、非常に重大なものがある、現に西に於ては西班牙の內亂に對し、東に於ては蔣政權の抗日戰に對して與へる影響は甚大なものがある。即ち蘇聯の反ファシーズム鬪爭の強化策と國防力の充實とは、直ちに一九三八年も前年と同樣西班牙の人民戰線派と支那の蔣政權とを益々支持援助する意圖を露骨に表示したものに外ならない、我國としても蘇國の

此の不逞なる世界平和破壞の意圖に對し十二分の注意を拂ひ、之に對する確固たる對策を今から考究して置かなければならないが、特に對內的に伸び來りつ、ある蘇國の反ファシーズム鬪爭の魔手には多大の警戒を拂ふべきである。此の意味に於て舊臘加藤勘十一派のスターリン派や山川均一派のトローツキイ派の檢擧並に去る二月一日行はれた大內兵衛一派の人民戰線派の檢擧は、誠に時機に適した處置であつて吾人は今後共我が檢察當局がなほ一層我國に於ける蘇國の反ファシーズム鬪爭の魔手の動きに瞳眼を光らせるやう希望してやまぬものである

---

# 大混亂の支那財政

# 收拾出來ずと

## 要人悲鳴を揚げて匙を投ぐ

## 日支和平の日近し

【香港ウインガンド發】日支和平の兆候は未だ眼には見へないが、當地に來て秘かに感ずることは、平和は今や默々裡に接近しつ、あることである。孔行政委員長は余に對して『日本の侵略行動が中止されない限り支那は斷じて平和に應ぜず』と語つた。余が孔氏を訪れた時蔣介石夫人である宋美齡は病と疲れを孔邸で休養しつ、あつた。孔氏は『支那は眞實平和を求めるものであるが、支那としては攻勢的、命令的な平和は斷じて受くることは出來ない斯る日が來るまで支那は斷乎として戰ふであらう。勿論これに依つて支那の失ふものは多いが、日本の損失も同樣に大きい』と語つた然らば支那は果してどれ丈けの期間に亘つて持久し得るかに就て同氏は口を噤して敢て豫言しない態度を示したが『吾々は日本の根本政治が吾々の知る日本の階級に依つて支配される場合が來たならば平和の途は直ちに開拓し得られるであらうが、軍閥下の日本に對して今のところ望み得ない。即ち日支平和は先つ日本人同志に於て解決するのが先決條件である』と語つた。斯くして日支平和は未だ街角には來てゐないが、軍事財政、經濟の方面から見て日支の關係は今や平和を急ぎつ、あることを感ぜしめてゐる。孔氏は余に對して極めて

卒直に『支那が軍事的に今日形勢を轉換せしめる可能性は絕對にないが、吾々の作戰は出來るだけ日本軍を支那の奧地に誘導して間斷なく抵抗し勇敢に鬪つて日本軍の損失を增さしめた後一旦總攻擊に出で已むを得ずんば再び退却するのみである』と語つた。『侵略國との平和拒否』の叫びは今や支那に於て強化され、更らに世界に對する哀訴となつてゐるが、右は必ずしも理由のないことではない。即ちこの日支事變が長期に亘ることに依つて日本が財政上に困難するとなれば支那の財政困難が日本以上のものであらうことは明らかであり、余の確聞する所に依れば支那の友人と稱するロシアは支那に對する飛行機、軍需品の援助に對しては現金取引をしてゐるとのことである。或る支那人の富豪家は余に語つた『若し事變が更らに六個月も續くなら吾々は破產する外はあるまい』と

---

# 霞ケ關で慰靈祭

【東京發】光輝ある帝國外交の爲め雄々しくも國際舞臺で奮闘中に任地で病沒又は事變下中に不慮の死を遂げた外交官の殉職者を慰靈する爲め外務省では二十七日午前九時半霞ケ關の外相官邸で同省最初の帝國外交殉沒者慰靈祭を盛大に擧行された。この二十七日は日本が國際聯盟を脫退した歷史的意義ある記念日で廣田外相が祭典委員長となり職員代表堀內次官以下高等官全員が官邸の祭場に集まり慰靈者各遺族列席の上神式に依り嚴肅な祭典を執行、帝國外交の礎石として祀られたる英靈は任地で病沒した杉村駐白公使（現杉村陽太郎大使の嚴父）ポーランドで病沒した河合駐波公使歸任の途中上海で沒した落合駐伊大使、痛恨の尼港バルチザン事件で兇惡過激なバルチザンの毒手に斃れた石田ニコライスク領事など三十七氏である。

---

# 政局不安增加す

【東京發】政民合同して近衛總裁推戴氣運進捗しつ、あると云はれるが、現內閣成立以來依然として軍部官僚の合作とも云ふべく、政黨は有るかなきかの如く擧國一致の手前甚だ感服せざるやり口を敢てし、強硬なる閣僚一部の主張をそのまゝ議會に押つけて壓服せんとする責任は政府側で多分に擔ふべきものとされてゐるのは甚だ遺憾であるとし近衛公が政民兩黨の合流に乘じて此際首領となるや否やは頗る疑はしい、併し乍ら閣僚中議會政治を不便とし侮蔑する一部人士の工作は國民の斷じて贊意を表せぬところであるが、只誰れも時局柄これを默認してゐる迄であるから政局の動靜は逆睹し難い

【東京發】政府と政黨との關係は國民總動員法案以來圓滿を欠き政局日に不安狀態となりつ、あり

---

# 邦人社會に稀でない

# 病的うそつき

## インチキとガルガンタ心理研究

○—○

クレペリン教授がその著變態心理の中に變質的異常人格といふ項を設け、それらに就て詳細述べて居る、精神の全く健康である人間と病者との中間に位する半病人を變質者と名づけてゐるそして之等の人々は特殊の異常人格をもつてゐる處から『變質的異常人格』と云ふ、その中に病的うそつきと云ふものを擧げて居つて或る特別なる心理狀態に於てウソをつくのである。

何人と雖も全くウソを言はないと云ふ人はないが、善かれ惡かれウソを言ふには言ふだけの理由があつて言ふのであるが、此の『病的うそつき』にはその理由といふものはなく、自分の想像力、空想力によつて然もその空想を事實と信ずるが如き狀態に於て口から出まかせのことをいふ。

○—○

之れを例へば青年であれば、自分は今度何々學校に入ることになつたとか、今度何々會社の重役からぜヒ會社の何々の係になつてくれ、或は何々新聞社からぜヒ何々係に賴まれたとか、今日ボンデの中で大金をスリ取られたとか、○○夫人から來た手紙だといつて自分で書いた戀文のやうなものを人に示して喜んでゐるとか、今度有利な事業をやるから一緒にやらないかといつて金を詐欺するとか、僕は日本では醫科大學の三年まで行つたが途中退學したといつて、其實小學校を卒へたばかりで藥局生位をしてゐたとか、或は何々大學を卒業したといつて其實中學程度もロクにやつてゐないとか、元東京で大會社の重役をしてゐたといつて實は小使か給仕位であつたり、元は大阪で大商店を經營し何万圓も儲けたといつて實は外交員をしてゐたとか、日本では何々の技師をしてゐたといつて實は電氣工夫であつたり、父は有名な○○家であつたが自分は繼母のために家を出てブラジルまで來たとか（何れも實例）全く或る事を空想して、平氣で無反省にウソを言ふ、特にブラジルの邦人社會にはそれが多い

○—○

斯ういふ人間に證據を擧げて『お前のいふのは全くウソだ』といつても少しも恥かしいと思はず、又極力之に對して事實なりと抗辯もせず、平氣で洒々としてゐるが常であつて、あれ位いつて置いたから嘸恥かしがつて會ふことも出來ないだらうなどと思ふと大違ひで前の事なんか何んとも思つて居ないで、忘れてゞもゐるかの如き態度で又次のウソをいふのが通例である。

○—○

かうした人のある事は誰れしも經驗することで、これらに精神生活の殆んど全部が空想的であり、又架空的な事實で認識され從つて行爲が虛言癖となつて表出されるのである、つまりウソをいはんが爲めの意思はないので、自分が持つてゐる異常に亢進した空想力で生じた觀念が主となつて事實との間に一種個有の觀念が生じ、それによつて、しかく事實と信じてウソをいふことになるのであつて、本人から見ればウソではないのである、しかしある者になると事實と異なることをいふのを漠然と自覺する場合もある。

かういふ時に委しくきくと自分は空想に醉ふやうに話の調子や興味にかられて遂に知らず〳〵のうちにウソを言ふと自白する事があるこの場合も最初から人を欺かんとしてウソをいふ者とは違ふのは勿論であつて詐欺などを犯しても、この心理によつて犯罪をした場合には責任能力といふ事になると、考へて見なければならないのである。（未完）

CASA TOZAN LTDA.
COMMISSARIOS
Phone: 2105 e 2106 - Endereço Teleg. "TOZAN"
Praca Maua, 25 - Caixa Postal, 911
SANTOS

珈琲コミッサリオ
カーザ東山

東山銀行部
伯貨定期預金
一ヶ年 六歩

サンパウロ事務所
ルア・フロレンシオ・デ・アブレウ 七四—A
郵函 五二八 サンパウロ
電話 二—一六八五番
二—二九八一番

リンス事務所
アベニーダ ボルンタリオ
ロザリーノ シルバ 一四七
郵・函 一一番
電話 一四七

切り取つて手紙の表にはられたし

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

◆伯貨預金
定期預金六ヶ月以上利率當分年三分五厘の割であります
外に當座預金特別當座預金等御便宜御取扱ひ申上げます

◆日本貨預金

◆鄕里送金
新爲替管理令により內地向送金は一口四百ミル迄許可さる、事となりました、但し送金許可穫得には多少の遲延は免かれません
尙新令により特別税として送金額の三分（3%）を、ブラジル銀行へ納入せねばなりませんから送金額以外に三分（3%）の金額を加へ御送金下さい、特別税三分（3%）御送金なき時は御送金金額中より差引き殘額內地向送金申上げる事と致します

橫濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

**時評**

## 日支事變後に來るもの

### 所謂長期抗日戰を再論して

△前號本欄に於て支那の對日長期抗戰の程度如何を現在に於ける支那の兵力及び軍備の方面から論評したが更に竿頭を進めて彼の財政上と第三國の支援程度並に事變後に來るべきものに就て觀察を試みたいと思ふ。

蔣介石を中心とする政權の財力は、今日まで中央、中國、交通銀行の準備銀と香港、上海銀行の準備銀とであるが、現代之れら諸銀行の準備銀は全部香港に運び去られてしまつて、對外信用の失墜を恐れる彼等はロンドン在銀高は二億五千萬元を有すと稱しても、之は兵器購入、或は外債の利子に充當せしめ今や日に欠乏を告げるに到り、最近三千萬元をロンドンに急送したがため上海バンク在銀高は一層少額となつたと報ぜられてゐる。

從來支那政府歳入の項中鹽稅、關稅、地租、營業稅等は重なる財源であつたが地租に見ても湖南の如き十數年の將來迄見越して徵稅を敢てし、營業稅の如き營業の不可能なるは、從來頻發の內乱に見て既に明らかである、その他に直接稅無く從つて今日國庫收入はないと觀ても當然であらう。

之に反し私財は今尚蔣介石の二億萬元をひそかに米國銀行へ、孔祥の三億萬元を英銀行へ、宋一族の私財に至つては既に本紙に於て報道した通りである、大官の私財は一文も國家の爲めに提供せざるのみならず、共產黨より戰費充當のため國民政府要人の私財提供を耳にするや、國民政府と共產黨合力の工作に亀裂を生ぜしむるやの危機をはらんだことさへあり、況んや愛國公債の名のもとに五億元を募集せしに僅かに一億の應募に過ぎなかつたことは彼等を對照して如何にシネースなるものの非愛國心に呆れるではないか、又如何に好意を寄する第三國にしても無償で武器を供給する筈はない、飛行機の如き一台十萬圓と稱せらる、がコンミツシヨンにより關係大官の私腹は充分充たされる或はクレヂットを以て長期信用で買ふとしても、之には利權等の擔保物を要するは勿論であり、外債を募るとも以上の方法を執る以外に途はない筈だ。

△最近孫科の渡歐も融資と外債募集の爲めであり、ソ聯としても亦同樣の態度を執るや明らかであらう、現在二〇〇機のソ聯製飛行機も今や我海軍に空襲された然しながら國土廣大な支那であり、財政上からは數千年來自給自足に堪へ得る習慣は積み來つたのであるが今日の事情からは積極的抗日は全く不可能となり從つてこゝに殘る問題は第三國の對支援助程度である。

△ソ聯は目下峽西に中心を置き蘭州に根據地を有してゐるらしいが、今後果して一層の對支援助をするや否や、ソ聯自らの爲めには如何なる方策にも出るであらうが、支那の爲めに自らを危險に晒すことは考へられぬ、ソ聯は極東へ增兵したと云ふが、これは寧ろ我國に對する攻擊よりも我國の實力の前に防備の示威運動を行つてゐるやうに過ぎず又は外蒙を最近支那に返還し、外蒙古の兵を以て我國內蒙滿洲國方面に對抗的に活動せしむると云はれて居るが之は或程度迄は首肯出來る。

△次に英の對支援助に就ては寧ろ日本を苦しませんせん爲めの心理を覗ひ得る、日本には大戰後ベルサイユ會議に於て獨領南洋諸島を委任統治せしめて追ひ拂つて以來、ワシントン、ロンドン等海軍條約で我が比率を低下せしめ海上に於ける南洋方面に對する日本の進出を不快に思ひ事每に他國をそゝのかして、我進出を妨害し來つた、爲めに凡ゆる方法と手段とを以て日本に臨みつ、軍事上は逸早くもシンガポールに巨大な軍事施設をなし、現在一三〇萬噸の石油貯藏所、大飛行場三ケ所、十六インチ砲台新築中とのことで、之等は一九三九年度を以て完成の豫定を、遂に本年中に完成するといふ强行策をとりつゝあり、又香港に於ける砲台並に兵舍ドック修理工場に至るまで新設に着手したのを手始めに對岸の九龍には大貯油所及飛行場を新設し、更にオランダと軍事協定を結び蘭領印度に迄着々經營の手を伸ばしてゐる。

△之等を綜合するに第三國は必ずや準備の成る迄は決して起ち上るまい、即ち今の處では外交上より巧みに日本を牽制するに違ひない。例へば英は秘にソ聯の極東艦隊を援助せんことを結び對米勸誘の聲は頻々と吾人の耳にひゞく、日獨關係に於ても果して日本の豫想や期待に添ふや否や、赤露を牽制せんがための協力に過ぎないと思はねばならぬ、米國は日本を怖れるの余り今次の大海軍擴張を計畫した、同國の對支感情は傳統的に對日感情より數倍の好意を寄せてゐることは事實であり、さすればこそ航空道路、自動車等を以て援助せんとする故に海軍擴張たる大艦巨砲の整備完了の一九四〇年以後に於て或は日本に對して如何なる方策に出づるや測り難し、要は現在の事變に第三國は積極的直接軍事援助を爲すとは想はれざれども、着々進めつゝある英米露の軍備充實と共に極東の風雲は更に暗然たるもの有らむことは今より想像に難くない、國の內外を問はず苟しくも日本國民たるの、一大決心を要するところである。

---

## 米を煽て獨伊を好餌で釣る

## 老大國英吉利の惱み

### 民主々義國群の軍備擴張と經濟軍縮

### 手を替へ品を替へる英佛

【シカゴ發】ローズヴエルト大統領のシカゴに於ける宣言は、米國外交の一期を劃するもので、將來起ることあるべき特定の場合に於ける米國の去就を豫示したものと見て差支へない、ブラッセルの九ケ國會議に臨んだ米國の立場が、あだかも英國のお先棒のごとき觀を呈するに及んで、米國內の中立主義が嚴然政府に迫り、同會議が結局有耶無耶に了つたがために、或ひは宣言と物議とが相殺されたかに感じたものがあるかも知れないが、決して左樣な手輕るな

**事**

柄ではないのである、現政府の意圖はとくに訂正されない限り、十月五日の宣言通りとせねばならない、果せるかな大統領は正月三日親しく議會に赴いて重大な演說をしたニユーデールの實行者だけあつて特定政策に關する教書を次ぎから次ぎへと矢繼ぎ早に議會に送ることとローズヴエルト氏の如きは全く前例破りであるが、この時の演說は一般的內政、外政に關する政綱の發表と見るべきもので、演說は全世界に放送された、內容中

**外**

政に關する部分は

一、他國の行動と政策とは米國に對して深甚の影響をおよぼす

二、昔ならば開戰にも至りかねまじき挑發にもかゝはらず米國は最近平和を維持した

三、米國は自衞のため十分に强くならねばならぬ

と云ふに要約し得るが、試みにその一節を拔いて見ると

高度に緊張された時代にあつては、そして牢固を誇つた文明が、現に脅かされて居る時代にあつては、國內の平和と、他國との平和と

**他**

國間の平和とを求める國々にとつて、自强の途を講じ、もつて他國をして紛爭の平和的解決の原則を遵守させることは義務となつた

と述べてゐる、また條約義務の無視は、民主的政治からはなれる傾向に伴ふもの、如く、民主々義を棄て、または民主々義が發達しなかつた國によつて平和は最も脅かされて居る、とある歐洲に於いて、この演說を讀んだものはいふまでもなく英・佛である、殊に英の喜びは大變なものである、シカゴの

**宣**

言に於けるが如く積極的に列强と協力すると云ふやうなことこそ述べなかつたが、その代りに大軍擴はこの時に豫約されたではないか、タイムスはじめ一硫の新聞が筆をそろへて禮讃した氣持ちは諒解が出來る、一九一七年四月初旬米國參戰の報が英國に達するや、聖ポール寺院には感謝祭が擧行され、皇帝、皇后の御臨席を見、さらにウエストミンスター(議會)のヴイクトリヤ塔に星條旗を掲揚した英國ではないか、デーリー・メール紙は米國は遂に英國と同樣の結論に達したと社說で

**述**

べて居る。しからばこの演說は獨、伊に對して如何なる印象を與へたかと云ふに、ターゲブラット紙は

ローズヴエルト大統領は世界を二分して不正なる國(即ち常習的條約破毀國)と正しき國(即ち議會政治の民主國)とに區別する、そして民主國のみが尨大な軍備を持つてよい、なんとなれば軍備は民主國の手にあつて初めて平和の具たり得るからだと考へて居るらしい

しかしながら米國の內國的問題が十八世紀流の方法を以つてしては

**解**

決し得ないと同時に、今日各民族の必要は一九一九年の(ヴエルサイユ條約の出來た年)の標準によつて正しき國と不正なる國とに分けて見たところが解決されるものではない

と云ひ、外務省の機關紙『外交政治通信』は

大統領は、國際協定の精神及び文辭から逃れやうとする理由を以つて獨裁國を詰責しやうとするらしいが、假りに事實に於てある種の協定を棄却する傾向がありとすれば、それは單に民主國

**自**

身によつて無視された常識と法理的原則に立ち歸ることを意味するであらう

と論じて居る、イタリーに於てはジヨナル・デ・イタリア紙主筆ガイガ氏は、ローズヴエルト氏は、全体國家を民主側に引き入れやうとするらしいが、左樣な途方もない逆轉が出來るものではないと一蹴し、更らに歐洲の現狀と、昨年十一月獨裁制を樹立したブラジルの例を指摘して、民主々義はすでに死の宣告をうけて居る、將來を司配して行くものはファッシスト式全体國家制でなければならぬと豫言し、ついでにターグブラット同樣

**大**

統領が世界を民主國と全体國家とに二分類しやうとするを詰つて居る、かゝる風に米國大統領の軍擴豫約說は全く異なつた二樣の反響を歐洲に呼起したが軍擴案は豫約通りに發表された、そしてシカゴに於ける宣言はこゝに異狀に强化された具体的基礎を得やうとして居る、米國の議會と國民とは、之を鵜呑みにするであらうか、今日米國を覬見するものはない筈である、僅かに二十年前の惡夢を忘れて再び他にそゝのかされてドン・キホーテの役割りを演じようとするかに見へる米國が如何にお人よしであるかを

**思**

はざるを得ない、しかも米國の大軍擴案は、英國の書き卸した大きな筋書きの一部である事を見逭してはならない、深謀遠慮の英國が持つ所の計畫の全貌は窺知すべくもないが、米國の軍擴、及び英國自身の軍擴と相對的關係にあるもう一つの企ては今ヴアン・ゼーランド報告書の形に於いて發表された、いはゆる經濟軍縮案に外ならない

---

## 列强の胸を打診した

## ベルギー首相の報告

### 空軍の協定が先決問題か

ヴアン・ゼーランド報告書はルーズヴエルト大統領の軍擴案同樣一個の案である、米國の軍擴案が上下兩院の討議を經て最終的にどんな形をとるかが不明であると同じゝ、この報告書の運命は全く判らない、しかしながら、それが英、佛の方寸に藏された秘策の必要な一部である以上、少くとも一應の檢討は是非必要である。第一に報告書の動機を見やう、一昨年三月ドイツのロカルノ條約破毀は

**ヒ**

ットラー政權が英佛に與へた痛擊の最大なるものであつた、佛の如きはまさに干戈をもつてこれに應へやうとしたほどこの事件は重大性を帶びたものである、なに故であるか、一九二五年以後の十二年間西歐の安全を保障したところのものが、一朝にして失はれたからである、ドイツの取つた行動の是非については、今尚一般に首肯される定論はないドイツはロカルノ條約の精神は佛、露條約によつて蹂躪されたる故に當然廢棄さるべきものであると云ひ佛は同條約に抵觸せずと云ふ

**私**

どもは獨、露の關係から推して、佛、露間の軍事同盟といふがごとき重大なる取り極めがロカルノに影響なしたとする佛の言分は全く諒解に苦しむものであるが、この爭論は別として、事實としては失はれた西歐の安全保障を何ん等かの形に於いて回復せねばならぬと云ふのが英佛への課題となつた、ドイツから見れば事は簡單で、ヒットラー氏はロカルノ條約を一擲すると同時に、二十ケ年の不戰條約を提議して居るのである、英、佛にしてこの

**提**

議を無視するとすれば別に新案を講じなければならない、その必要に應じたものが經濟軍縮なるものである、經濟軍縮の議は古いもので、決して一昨年生れ出た譯けではないが實際問題として、ロカルノ條約の代案として取り扱はれるに至つたのはこの時からである、ヴアン・ゼーランド報告は最初に代案の實施方法を示したものである第二に報告書が作製されるまでの經過を見るに、英、佛兩國は一昨年の春ロカルノ條約の破毀にあつて驚愕措くところを知らなかつたが

**秋**

には與國と恃んだベルギーが中立を宣言するに至つて狼狽の極に達した

しかしながら英、佛の現實政治家は覆水の盆に返へらざるを認め禍を轉じ福と致すの積極政策に早變りした即ち昨年春進んでベルギーの中立を正式に確認すると、もに、首相ヴアン・ゼーランド氏をして經濟軍縮案作製の任に當らせることにした、腕の冴へを見せたと云ふものだ、かくてヴアン・ゼーランド首相は歐洲諸國を歴訪して豫備會議を行つた上で遙々米國に渡り、ローズヴエルト

**大**

統領と二回その他の要人とも會つて米國の脈をとつて歸國し、檢討三ケ月にして出來上つたものがこの報告書である、第三に最も重要な內容を見るに、讀者のうちにはそれがあまりに抽象的にかゝれ唯だ慈悲博愛の溫情に滿ちてゐることだけが目につき、果して何を狙ふのか不思議におもふ向きもあると思ふが、簡單に云ふと、通貨、爲替、關稅、割當、に關する現狀を調査し、獨、伊に資金と原料を融通し、その對外貿易を圓滑にしてやり、委任統治領についても

**考**

慮してもよい、と云ふことになるのである、一見まことに甘い話しに見へるのである、ところが前に云つた通り、これは一個の案であつて獨、伊の贊成を得ることが出來れば、一種の國際會議が開かれそれの審査と採否が行はれる順序となるのだが、それが一通りの、難事でないのだ、第一に獨、伊の態度は屢次の電報にも見へて居る通りあまり人爲的な構想の上に案が立てられて居る、手練手管はいゝ加減にせよと云ふ點がある、獨、伊は『持てる國』の壓迫に堪へかねて

**そ**

れ〲自給自足の計を立てた今日、何を今時云ひ出すかといふ點もあるヴアン・ゼーランド首相がアメリカに渡る前、英佛の魂膽を見拔き獨、伊の新聞は『その手には乘らぬ』と明かに聲明して居るのだ、今更ら好餌を鼻の先きにつり下げられたからといつて飛び付くものとするは、あまりにも獨、伊を見くびつた仕方ではないか、第二にヴアン・ゼーランド報告書は盾の一面を示すに過ぎない、他の一面は何んであるかといふと、ヴアン・ゼーランド案が實施されるとして、その交換條件である、いひ換へると

**經**

濟軍縮案なるものは、經濟的取り極めと政治的保障の兩面を持つところの盾なのだ、このことは、本稿の報告書動機論に明か[illegible]

---

## 熱血男兒愛國詩人

## ダヌンチオ！

### —獨力ヒユーメを占領—

【ガルドニ發】英雄であり、寄人であり、飛行家であり、詩人でもあり、また戯曲家でもあつた伊太利が世界的の名物、ガブリエル・ダヌンチオ翁は七十五歳の誕生日十二日前に腦溢血のために午後八時五分卒然波瀾重疊たりし生涯の幕を閉ぢた、十六年間アル[illegible]ンの麓にある別墅で死を[illegible]

[illegible]

て侍女を呼んだが其儘倒れて絶息したので侍女の叫聲に驚いた人々が馳せ付けた時は彼が使ひ古しのクヰルペンを右手の指の間に挿んで、彼の半身は机上にもたれたなりであつた。軈て友人の彫塑家ミネルが來て彼のデス・マスクを作り村の寺院は一部を邸內に移して供養を始め、遺骸は航空大將の制服に包まれた

▽……△

ダヌンチオの訃音は直ちに皇帝の避寒地に達し、兩陛下より優渥なる弔電が届く、羅馬で家族と晩餐を共にしつゝあつたムツソリニは自ら急いで葬儀の準備を命じた

▽……△

彼の專門は詩人だが、千九百十六年二月には敵國墺太利に飛行機で不時着陸した際に一眼を失つた。千九百十八年には大膽にも小型の自動ボートで墺太利のブッカリ港を襲擊し、同年の八月には飛行機で首都維納を驚かしアドリア海のヒユメを維爾遜大統領の意志で國際聯盟の管理下に置かうとするとの風說に反抗して同年九月十一日數百の青年を引卒して彼はヴエニスより協商國の一部隊が占據して居たヒユメに乘り込むで、翌年十二月まで十五ケ月間協商國の抗議を一蹴し、頑としてヒユメを退かなかつたと云ふ英雄的氣魄を示した。しかし十一月十二日伊太利とユゴスラビアとの間に協定が成立しヒユメを獨立市と認めるに及んで彼の立場は苦くなつた。祖國伊太利の當局者は、この協定でダヌンチオが滿足するものと考へたが、彼は容易に屈服しなかつた。

▽……△

其處で十二月一日彼は伊太利に向つて宣戰を布告したので、ヒユメは伊軍の包圍するところとなつた。彼は飽くまで戰意を棄てなかつたけれ共ニチ首相からガルバヂーの例を引いて慰撫された爲めに翻然歸順を決意して本營をカリグリア將軍に渡してガンダ湖畔のガルドニに勇退した。千九百二十四年伊太利皇帝陛下はダヌンチオの功勳を嘉賞し給ひ『雪嶺公爵』の稱號を賜はつたが、これは世襲であるから、彼の長子マリオが公爵家の主人となる譯である、次男のヒユーゴーは有名な飛行家で、三男はガブリエニと呼ぶ。

(此の項つゞく)

---

## 蘇聯支那人檢舉

某所に入つた情報によればソ聯當局は[illegible]强制移住に[illegible]中旬以來極東ソ聯領內の支那人に對しても[illegible]し既に極秘裡に[illegible]支那人は、ウラジオ方面[illegible]五百名、ハバロフスク[illegible]名、ブラゴヴエ[illegible]四百五十名に達[illegible]は釋放されたが[illegible]續き監禁中であ[illegible]された支那人の[illegible]察するにこの大[illegible]的はスパイの發[illegible]の、如く既に二[illegible]パイ嫌疑で處刑[illegible]監禁中の二千余[illegible]家族は遠からず[illegible]命ぜられる模樣[illegible]

---

**求人**

日本人料理人

當方はサントス近郊クバトンに於けるドイツ人のペンソンです、經驗を有する勤勉な日本人の料理人を至急にて雇入れたいと思ひます

希望者はクバトンペンソンアレマンへ直接御來訪願ひます

料亭 **可祝**

ピネイロス、ペドローゾ・デ・モラエス街

一七一番 裏隣 四五番

(女給さん數名入用)

歯科醫 **寶臣衛**

アラサツーバ市

郵函 二〇八

FABRICA DE RITSUO MORISIN

絹張日傘

優美にして安價

G. KUNIY

**國井商店**

聖市 イルマン シンプリシアナ街 二八

呼寄專門

**明穗事務所**

(海興直ぐ上)

Rua Felipe de Oliveira 21
4and. Sala 8
Telef. 2-3444 C. P. 1907
S. Paulo

料亭 **青柳**

聖市 ルア タバチンゲーラ 八一

電話 二一一九四八番

料亭 **富田家**

聖市 コンセレイロ フルタード街 一三五

電話 二一六七六七

害虫に對する備へ旣にありや

農業家への福音

驚異的殺虫劑の出現

末粉 **デリス殺虫劑**

殺虫効力一〇〇パーセント

殺虫劑にして殺菌力をも兼ね有す

石鹼、カゼイン石灰等の展着劑不要

人畜無害、使用法簡單

アブラムシ、アコマ、アリマキ、クルクレー ルガルタ、プロツカ、アリ、サウーバ 等々

發賣元 アルマゼン海興 **肥料部**

アニヤンガバウー街 Caixa Postal 1602 Tel. 2-5403
Rua Anhangabahu, 911-915 S. PAULO

製造所 聖工社 カリリス街七(ピニエイロス)

# 地獄と極樂の國境で
# 如來の慈悲を說く
## 戰爭宗教も生れるだらうと
## 回向し乍ら進擊の僧

【南京發】慈悲と無慈悲が紙一枚を隔て、同居してゐる戰場に珠數つまぐりながら僧侶が從軍したとき如來樣は如何なる思召で慈光を放つであらうか三途のクリークをこぎ上り、こぎおり幾戰線の彈雨をくゞり拔けてナンキンに入城した二人の僧侶が記者に語つた戰勝の感想によると『戰爭文學さへあるのぢやから戰爭宗教は當然生れねばならぬ筈ぢや』前戰に回向しながら奮戰敵を倒す僧侶と戰爭はひどく釣合ひがとれぬやうだが、ピッタリと呼吸の合ふものである

矢口部隊がナンキン城外で分捕つた戰車の上に双手をあげて立ちふさがり万歲の法悅にひたつてゐるのは身延山の從軍僧結城瑞光師だ。見るからに柔和な風情だが、この僧侶は彈の下を戰車にまたがつて入城した。記者はこの僧と矢口部隊三勇士のお通夜をしたことがあるので『君は成佛しなかつたの』と國民政府前で深刻な挨拶を浴びせる。結城さんがいままたがつてゐる戰車は機臺がソ聯製、銃砲が英國製の科學兵器でキヤタピラの性能などは兵隊さんが舌をまいた代物である。タンク上から

御題目の一齊掃射を浴びせてから『われ日本の柱とならん』『われ日本の眼目とならん』『われ日本の大船とならん』と豪快な戰場說法をはじめたのである。

皇道廢れて人滅ぼせば、誰が佛を崇むであらうか皇軍の入城に草木もなびき喜ぶこのナンキン城の光景を御覽なさい。義を以て、道を以ていまこそ世界を日本化せしめねばならないですぞ、聖日蓮は須く國家を祈つて佛法を建つべしと喝破せられてゐる。今次の事變は如何なる犧牲を拂つても日本の立場を世界に示さねばならない

生死を超越してナンキン城外に奮鬪する勇士の姿は『正しく王佛冥合の秋なるぞ』の象徵である。正義と平和のために何十万の抗敵を倒さうともこれは殺りくではないこれこそ大乘佛敎いふところの大慈悲心である。あゝ正を養ひ慶を積む、嬉しいのぢや、滿悅なのぢや、いま皇道を宣揚する世紀の法悅ぢや。

人氣のないナンキンの路地裏に犬とネコがたはむれながら日向ぼつこをしてゐた誰も顧みない寂しい戰禍の一隅では犬ネコの仲さへもむつまじいのである、通りかかつた一人の兵卒がほろりとして抱きあげた

ポケットの口に茶色の袈裟がはみ出してゐる。この兵は人見部隊竹內了照一等兵滋賀縣のさる寺の住職である。犬ネコを愛撫しながらさびた聲で語る法話わしが回向した僚友はもう七十名を越えてゐる、ある僚友は戰死後十時間を經てゐたが、わしの念佛最中、腹中にガラ〳〵といふ音がしたかと思ふとタラタラと吐血した、死人の吐血、わしの部隊では皆が不思議さうに顏を見合せてさゝやき合つたもう少し生きながらへて御國に盡したかつた、彈にあたるなどは自分の不注意だ、申譯ありませんとわびて死んで行く兵に

供養直前の臨終の枕邊で大和魂を何度見せられたか、蘇州では功德林寺の僧侶が十名ばかりを使役して敵兵の死骸を片つけてゐた『お互に手ののびるだけ戰場の靈を弔ひませう』と六十歲位の老僧と固い握手をして別れた、報恩北寺に役僧が五名ゐた、宗祖は同じ曇鸞大師だ、鬪ひ終つたら仲良く日支提携せねばと語り合つて別れを告げただがわしは塹壕の中では擊つて〳〵擊ちまくりました、戰友の仇は十分に雪いだつもりぢや、わしが介抱した戰友にかう

遺言して天晴な戰死をした勇士がゐる、その言葉はかうです『自分の魂は永遠の家鄉に歸つて安樂に成佛するが、相搏つ鬪爭の世界には何回でも生れ變つて、平和な極樂の世界をつくつて見せる自分の靈は未來永劫護國の鬼となつてこの目的を貫徹せずにはおきません

---

# 我が台灣空襲の實況
## 在台北米國領事の談
◇……命中する筈がない

【東京發】『敵機臺灣を空襲』の報は帝都の市民に少からぬ驚きを與へたが折から市內は防空演習の最中でサイレンが鳴りひゞき防空火器隊が市中をかけ廻つてゐる最中なので更に空襲の實況を深刻に思はせるものがあつた。臺灣駐在米國領事ワーナー氏は東京から問合せを受けて、十一時頃不意に爆音が聞えたので皆びつくりした、臺北には米人が十一名居るが皆安全だ。十一時に一二回やつて來て一彈は臺北飛行場近くの瓦工場に落下した。それから暫くして又新竹市外にやつて來たと答へた時不意に電話が切斷されてあとは聞えなかつた。何しろ四千米といふ途方もない高さから投下したのだから飛行場に命中する筈がない、罪もない婦女子を殺傷しただけで何等軍事的目的を達せずに逃走したわけである

### 政府の役人達は非常に憤慨して

今までカントン攻略をひかへてゐたのだが、かうなつたらカントンも攻略し漢口も攻めて徹底的にやツつけねばなるまいと語つた、恐らく今後支那の飛行機基地に對する爆擊は一層熾烈化するものと思はれる

臺灣は支那福建省から僅四十里位で飛行機で來れば半時間足らずで飛んで來られるのだから今まで空襲にやつて來なかつたのが不思議な位である台北は上海から六百キロの南方、カントンから東北七百五十キロに當つてゐる、支那軍の基地南昌から飛んで來ても僅二時間位で容易に來られるのである。それを過去七ヶ月の間一回も飛んで來なかつたのだから日本であれは支那人ぢやない、ソ聯人かアメリカ人の飛行士の仕業だらうと噂してをり支那人にそんな藝當が出來る筈はないと馬鹿にしてゐる。

日本の國土に空襲を受けたのは建國以來始めてであるが今後臺灣や西部本土へいつやつて來るかわからぬから大本營の

對支作戰も南支沿岸の攻略決行に變更すべしといふ論も出て來た。約八百五十年前の元冠はあまりにも有名な話しであるか、あの時でさへ神風の天佑と勇士の奮鬪によつて二回迄も擊退した、又一八六四年には列國軍艦が下關を砲擊したことあり、一八六三年には生麥事件のため英艦が鹿兒島を砲擊した例もあるが空襲は始めてゞある。浦鹽からソ聯機が飛んで來ると恐れてゐたものが方角違ひの支那から來たのも意外と言へば意外である

なほ台灣の人口は五百五十万、その內十五万は生蕃で殘部の大半は支那系の本島人、台北の日本人は二十七万人位である

---

### 四川省重慶府
# 脫出記
——死線突破の一女性——

敗殘國民政府の本據四川省重慶から身をもつて脫出漢口經由八日香港に着いたただ一人の日本婦人金子たい子（本籍千葉縣東葛飾郡柏町六九四、元橫濱市中區辨天通一ノ五、メトロポリタン・ダンス・ホールのダンサー）は黑い毛皮の短か、肩掛けをかけたすつきりした姿、その顏形も支那のモダン・ガール式で支那語もハツキリして居り、これならば何處へ行つても支那婦人で立派に通れることがわかる、たい子は十二日、在香港日本記者團と共同會見の席上で、次の如くその脫出振りを物語つた。

▽……△

私の主人は妙な緣で例のパネー號に乘込んで居ました、六月上旬、同船が重慶に碇泊して居たので私もその船に居たのです、うまく支那人になりすまして居たので何事もなく八月十三日イタリーの船で漢口まで下りました、こゝで初めてイタリー人船長にだけ日本人であることを打明けますと船長は驚いた樣子でしたが『大いに力にならう、安心なさい』と親切に色々世話をして異れました、親善國の有難さを痛感致しました八月十八日に漢口に着き、暫らくそこに住みましたが日本人だと云ふことを誰かが密告したので十月十四日に支那巡警の取調べを受けました、いろ〳〵とごまかして頑張りましたが、支那婦人の特徵である耳輪の穴が耳にないので支那人であるとつゝぱることは出來ずさりとて逮捕されたら殺されるのに決つて居るので、朝鮮人金といふ名前で通しました、しかしとう〳〵日本人のスパイといふことにされて、十二月十六日監獄にぶち込まれてしまいました。

▽……△

六疊の間ぐらひなせまい板敷きの室に二十余名の女四人と一緒に一夜を明かしたが、あまりひどいので友人の外人に手紙を書き、その翌日から少しましな室に移してもらひました、そうして約一週間監禁されて色々取調べられましたが遂に去る二十三日出獄し、三十日六名の憲兵の監視して居る列車で廣東に出で、そこでもまた一日中取調べられ正月の元旦に正式に廣東の監獄にほり込まれました、その時なほ一名の朝鮮婦人も居りましたが、もう平氣になつて二人で獄內で都々逸などを唄つたりして居るうち、一月八日監視附で香港まで護送されましたが、結局朝鮮人となつて逃れました、金さへあれば何んでも出來る國ですから案外平氣で通りました、一時はもう駄目と思つた事もありましたが、とにかく七日無罪となつて八日に汽車で香港に送られたのです、漢口では九月中旬日本の空軍が襲擊して以來、同市民は全く戰々兢々たる有樣で、各戶に砂囊二つ、飛行機が來たら直ぐバケツに水を用意する、私も砂囊を買ふのに十數ドル取られました

▽……△

我が軍は大抵の重要機關はやつゝけて居る、兵工廠飛行場、武昌側の軍官學校など重要な所は殆んど爆擊されて居るが、絕對にその跡を見せないもしこれを見に行けば、直ぐその場において監禁されて、スパイとみなされる、飛行場を爆擊されたときも、多數の市民が見に行つて門を閉ざされ殆んど全部が監禁されて以來市民は絕對に跡を見に行かなくなりました

私の居る間に外人側の噂さでは露國の飛行機と、これに將校等三百名以上がやつて來て飛行機も每夜々々五十台づゝ到着したと云て居ました、勿論正確な數ではないやうでしたが、相當な數で來て居ることは確からしいです、日本人の動產不動產は邦人が引き揚げて後間もなく封印を解き、大部分は支那人がその家に侵入し殆んど掠奪されてゐますが、領事館、同仁會病院などはそれほどでもないと聞いてゐますが、何しろ飛行機が襲來した時の如きは日本租界は爆擊せぬと云ふので多數の日本人の家屋は支那人の避難所となつて居ました

▽……△

食料品をはじめ、あらゆる物價は暴騰し要人、避難民一般はすし詰めの狀態で慘憺たる有樣です、廣東まで支那人の普通の汽車で來たのですが、途中窓外を見せないが各所が爆擊されてゐた模樣です、廣東では一般市民は我飛行機は軍事施設以外には爆擊せぬことを知つてゐるので飛行機が襲來しても平氣で市中を步いて居る有樣です、重慶から漢口、廣東等至る所あらゆる抗日的宣傳ビラがはりつけられ、隨分一般市民の恐怖と混亂は察せられました私は十三日上海に歸ります何しろ想像もせぬいろ〳〵な經驗をしました。

---

# 物言はぬ勇士
## 畜生ながら義務遂行の一念
## 忠犬ハッピー號斃る

【大阪發】武勳赫々たる皇軍將士と共に一死をもつて御國に御奉公した物いはぬ戰士！軍犬ハッピー號の忠勇美談を、兩角部隊の軍犬係り玄葉鶴三一等兵から元の飼主大阪旭區中宮町宮田重稔氏あてに報じて來た○日午後同家を訪ふと、忠犬ハッピー號の颯爽たる出征姿の寫眞を佛間にかざり帝國軍用犬協會大阪支部第四小隊、都島中通り郵便局長吉田虎雄氏ほか班員數氏が打ちそろつて、しめやかにその冥福を祈つて居たが同犬はセパード種雌、三歲で既報の任務を果したオヴイネ號と共に勇躍出征、大塲鎭東北方の第一線で一ヶ月間重要な傳令任務につきついで追擊戰にうつるや、○月○日には江陰の一番乘りを敢行した、續いて敵都南京攻略に從ひ斥候兵の敵情偵察結果を本隊に報告すべく歸還の途中、不幸左後肢を機關銃彈で射ち拔かれたが、使命の重大さを感知してか、血まみれになりながら本部に到着、見事使命をはたすやワンと一聲殘してバッタリ玄葉一等兵の膝に倒れた、居合せた將兵も思はず擧手の禮で戰傷ハッピー號の殊勳をたゝへ、その後手厚い看護の結果一命はとり止め堂々南京入城までしたが遂いに戰傷死したもので、我が子の如くいたはつて居た玄葉一等兵外五名の班員は男泣きに泣いたとの旨が認められて居た、尙は同家には彼女の遺兒バルロー（九ケ月）があり親の血を引くだけによく命令を聞き分ける名犬で、近き將來に親子二代譽れの御奉公にあがる筈である。

---

## 漸次高くなる
# 小麥粉

近年ブラジル國內に於けるメリケン粉の需要漸減の兆あるにも拘はらず、他國よりの輸入額は益々增加する一方で然かもその大半はサンパウロ州に於て消化されつゝあると云ふが、今それを統計の上から見れば年額約一百萬トンの輸入、其の價八十万コントスに達し、一九三六年に於けるサンパウロ州の輸入額は二十七万四千八百四十九コントス余これは一九二三年度に於ける伯國輸入總額に相當して居る、即ちこれを最近四ケ年間の統計に見れば

| | |
|---|---|
| ●一九三三年 | 九七、一〇三コントス |
| ●一九三四年 | 一一八、一四四コントス |
| ●一九三五年 | 一六八、三五三コントス |
| ●一九三六年 | 二七四、八四九コントス |

更にこの間に於ける輸入價格の變動を見るにサントス着一九三三年に於ては一キロ四百七十四レース小麥にて二百九十七レース、一九三四年はキロ四百八十二レース、小麥にて三百十二レース、一九三五年は六百四十二レース、小麥四百九十二レース、一九三六年に於ては九百四レース、小麥にて六百八十レースと漸次上昇を示した、これはアルゼンチン政府が輸出を制限したるがために尙今後も相場の上昇は免れないものと見られ、聖州政府は州內の小麥栽培を大に獎勵する方針だと

---

## 臆面も無く何時迄
# 法螺を吹く？
## 眞僞の見境つかぬニュース
## 見事スパヌかれる

聖市で發行するオ、エスタード紙の如きは支那人を通信員とするロイテル電報やセントラル、ニユースから發するウソ八百のニユースを掲げ日本に不利な記事を出して得意になつて居るが、最近ニユーヨーク、タイムス上海支局長アベント氏は現地に於て實狀を探り支那側のデタラメ宣傳ニユースを指摘し痛烈に左の如く批判を加へた

一、所謂長期抗日に關する支那側の『公表』は近頃矛盾だらけでお話にならぬがその一例をあげると過日支那側は廣東省民衆武裝のため小銃百万挺を分配したと豪語したが百万挺の小銃を購入するには八千万元の大金を要するので、こんな大金は支那側の財布にありつこはないので、たとひあつたとてもかゝる多數の武器はどうして買へるものか不可能である

二、しかも百万の小銃を分配したといふそのすぐ後に共產軍が小銃不足を訴へるぢやないか、これは國民政府に小銃が不足してゐることを示すか又は國民政府か共產軍に武器を與へて大きな敵を作ることを恐れてゐるかどちらかの事實を物語るものである

三、支那側は又、セン西省西安と新疆經由ソ聯邦とを結ぶ鐵道を三ヶ月で完成すると言つてゐるがこの二千五百哩の鐵道がまだ下檢分もすんでゐないのに三ヶ月で出來るわけもなし、いかにソ聯の援助があつたとしても數年を要するのだ

四、今一つおかしいのはソ聯から飛行機七百五十台購入の契約成立したとの發表だ。支那側はこの飛行機の一部を巨大輸送機で戰車と共に空送しつゝあると馬鹿々々しいデマを飛ばしてゐるが戰車を空送し得る飛行機があるものかどうか考へずとも分り切つたことだ

五、徐州にある支那軍四十万は死力を盡くして陣地を守るべしとの豪語と對照して四十二名の將領が銃殺又は免職されたといふ公表があつたのは頗る皮肉である。韓復渠の死刑について國民政府の御用新聞たる上海の『日報』ですら

『民國成立以來守地を失ひ、義務遂行に失敗した者で責任を感じて自殺した將官は一人もあつたためしがない。滅亡した清朝時代でさへ名譽を汚した將軍はすゝんで自殺したのに今日の將官連が幾多の要地を失ひながら平然としてゐるのは實にあきれたザマだ』

と慨嘆してゐる。

---

## シッカリした
# 看護婦を
## 日本病院で養成

在伯同胞の待望してゐる日本病院の建設工事も着々進捗を見せてゐるが、その準備として看護婦見習生の第一回募集が別揭廣告の通り發表された、これについて鎌田博士は『いよ〳〵日本病院も完成に近づきましたので人事の陣容を整へねばなりませんが、それに就いては常に直接患者に接して醫療上最も重大な役目につく看護婦ですが、これは一朝一夕に養成出來るものではない、素質の優秀な者で意志の堅い者を擇び相當期間看護學一通りのアプレンデをさせねばならない、兎角看護婦と云へば社會的地位を認められてゐなかつた時代もあつたが、それは昔のことで、此の頃では一個の立派な職業として社會的に認められて居るから、日本病院ではしつかりした看護婦を養成して廿万同胞の爲にお役に立つ事を希望して居ります』と語つてゐた

---

EMPORIO
を讓り度し
目下盛業中の店です居ぬきのまゝ三コント五百ミル位で賣ります家賃は四五〇ミル、アルマゼンの他にモラジアとして五室料理場等完備してゐます、お早い勝ち…………
聖市アベニーダサンジヨン　一、七七五番

---

## モチ產業組合
# 新築祝賀
## 柔劍道大會開催

祖國事變の勃發によつてようやく日本精神鼓吹が世の識者によつて火の手をあげられた、兎角忘れられがちの日本精神が海を越えてブラジルまでとび火して來たことは誠によろこばしい。

本月廿七日（日曜日）セントラル線モヂダスクルーゼスに於ては、汎モヂ日本人產業組合新築落成祝賀式が行はれ、この日を卜して柔劍道大會が開催された。

參觀者五六百人を超えて、會場に當てられた新築二階の廣間も狹隘を感ずるとあつて、倉庫を道場に急造するといふ騷ぎ、それでも尙入りきれず屋外に鈴成りといふ盛況を呈した、サンパウロからは柔劍道聯盟から柔道では小川師範、劍道では菊池師範が出席し各々日本武道の型を公開して、如何に武道の禮儀正しきかを外人にも知らしめた。

近邊から參集した青少年の戰士はいづれも元氣一ぱい火花を散らして鬪つた、中にブラジル人も六七名武道試合に交つてゐたのは異彩であり、日伯親善の實をあげた。

求む！
當方はブラジル人です日本語を研究したいと思ひます誰れか若い人で親切に敎授して下さる事を望みます、年齡と要求を書いて左記へ御一報を乞ふ
A. L. C. Postal 1569
S. PAULO

---

# 同胞文化の温床
——受書と寸評——

●CORREIO DA ASIA

●R.A.P.HOMEOPATHIA

●INST. DO PINHEIROS

●ブラタク月刊最終號　此の號が月刊の最終、來月から週刊へと大飛躍する由在伯同胞文化の温床が斯くて益々にぎやはしくなるは御同慶至極。

●黎明三月號　敎育普及會　本號には大分目新しい處が見られる、坂根氏の目に觸れしまゝの歌（歌としての批評は別として）が卷頭に揭げられてあるので開卷先づ柔い感じを起させるKN氏の時事解說は堂に入つたもの馬場恒吾や城南子の言を引用し其れに託して在伯邦字新聞界に對する不滿と希望を述べてゐるあたり此の筆者たゞの鼠ぢやないらしい、有馬君の『カナ文字日本文化』は苟も邦二世の敎育を思ふ者の是非精讀に値する金文字である、同君が夙に斯の運動に携りつゝ、『無理解の壓迫』から遂にカナ文字運動中絕の姿で今日に及んで居るのは純正日本文化の世界化を思ふ者の眞に同情に堪へない所である、黎明誌が同君の爲に否純正日本文化發達のために今度その紙面を割愛したるは或る意味に於て一の英斷たるを失はない

●ときのこゑ　救世軍日本人部　號を追ふて益々內容が充實して行くやうだ、是れに對しては食はず嫌ひの人も有る樣だが誰れでも文句は先づ一度食つてからにし度いものである

---

# 記者の雜記帳

▽……日本の棉花輸入制限で折角人氣づいた棉界もパツタリ意氣銷沈してゐたが日本政府の綿製品輸出積極策で來月以降每月廿三万俵の輸入許可で、ブラスコツトは六月迄に六万俵、東棉三万俵を買付けると云ふので俄に活氣づく。

▽……二千二百万の住民面積七万平方キロ三省と上海特別市一市とより成る中支新政權『中國維新政府』の成立式が盛大に廿八日午前十時南京舊國民政廳に於て擧行されたが、この政府は近く北支臨時政府に合流する筈でその國旗は五色旗と制定せられた

---

聖市グローリア街三五二
電話二一六八四八
淺倉齒科院
●每日曜日コチアへ出張診療（室永氏方）
Rua da Gloria 352
S.Paulo
(Largo do S.Paulo)

北大醫學士
今田求
リンス市
電話　一四三
郵函　二〇三
診察時間　午前九時ヨリ　午後五時マデ

料亭
千鳥
ピネイロス　フエルナンヂアス　五二
（女給さん數名入用）

社告

社員　野崎豐次
田中安次

右ノロエステ線及びパウリスタ線方面へ出張致させ候につき御配意相煩はし度よろしく御願申上候

昭和十三年三月

南米新報社

ノロエステ
愛讀者各位

薄利　多賣
品質　本位
◇味美しくて
劑の利くお醬油
黑島印　醬油
釀造人　黑島伊平治
北西線プロミツソン驛前

日本病院　第一回看護婦見習生募集

▲募集人員　二十五名

▲募集期日及志願方法
昭和十三年五月十日までに志願書（履歷書、在外公館身分證明書及寫眞を添付のこと）を本會宛に送付すること

▲志願者の資格
一、年齡滿十五歲以上滿十九歲以下の女子
二、尋常小學校又はグルーポ・エスコラール卒業以上の課程を修業し又は之と同等の學力を有するものにして邦語・伯語に通ずる者

▲採用試驗學科及期日
一、試驗學科　算術、日本國語、伯國語、口答試問
二、試驗期日　昭和十三年五月下旬頃採用試驗を行ふ豫定なり、日時及試驗場所決定の上は本會より志願者へ通知す、尙在聖市邦字新聞に廣告す

◉右試驗に合格し見習生として採用の上は相當の給料を支給し尙卒業の上は日本病院看護婦として勤務せしむ
◉看護婦養成規定、願書々式、其の他詳細は本會へ問合せありたし

昭和十三年三月
在ブラジル日本人同仁會
所在地　Rua Silveira Martins 72 S. Paulo
Caixa Postal 2976 Tel. 2-5700

## 繞る瓦解?か建設?かの人々

悟道軒圓玉（作）
丸尾至陽（畫）

### 四二　遲れた萬之助

安藤侯を襲擊した浪士は多勢に取り卷かれ深傷を負うて打ち仆れた。その中に吉野政助只一人は氣力を回復して再び群り寄る供の人々を相手に戰ひ、この場を斬りぬけむとした、しかし次第々々に危地に入る。

こゝにお話一變して、この人々の同志內田萬之助はどうしてこの一擧におくれたか、これに付いては一場の悲劇があります。

內田がこの現場に遲參したについては種々な說がありますが私はその當時の古老に聞いたことをお話いたす、內田は水戶の家臣で櫻田の義擧にも加盟いたし居つたが、その當時病に冒されて國もとに居つたために義擧に加はることが出來なんだ、その後國もとを脫して江戶に出て參り、芝愛宕下の俗に籔加藤といふ近江水口にて二萬五千石を領する加藤能登守の家來森九郎右衛門のもとに寄食いたした。九郎右衛門の妻しづと申すは萬之助の伯母です。これに娘があつておそのといひこの娘十七、家中で今小町といはれる程の美人內田はこの折廿四歲、美男ではないが風采も上品で、之れには劍術は無念流の達人文學は藤田東湖の門人とて素養もある、九郎右衛門はこれに望みを囑した、伯母のおしづは大層喜び

伯『萬之助、お前何時までも浪人をして居ればとて出世をする事はなりますまい幸福は天から降るものでもなし、自分の運命は自分の力で開拓をしなければなりますまい』

萬『御尤もにございます、しかし拙者には望みがございます、それを貫くまで浪人をいたし居ります何時かはこの望みを達する時節もございませう』

伯『お前はそんなことをいふが、時節の來るを待つてゐるとは氣の長いことだね、伯父樣の話に依ると萬之助をこゝの婿にしてこの家を相續させたいと申してゐる、定めしお前には氣に入るまいがおそのを妻としてわたしたちの面倒を見て下さい、知つての通り伯父樣はお城使を勤めて居る、これはお留守居役の事でなか〳〵骨の折れるお役だがお前ならばこのお役をつとめることも出來るであらうと申してゐるが、どんなものだらう』

問はれて萬之助が

萬『お城使はお留守居役で諸家の留守居と交際いたしてお家のために働きます、これは世事になれて居るものならずばつとめることはなりませぬ、私は田舍侍でございましてこの樣なお役をつとめる程の資格もございませんよつてこの儀は殘念ながらおことはりいたします』

とかう言つた、これは安藤對馬守を討取り、幕府の改革を促す目的を抱き居る、さすればこゝの婿になればとて長くおそのと添ひとげることはならぬ、また加藤能登守の家來が閣老を襲擊いたしたその徒黨の內に居つたとあつては加藤侯も迷惑する、また伯父も迷惑、それ故こう口實をまうけて斷つたものにてお城使即ちお留守居は武士の中での通人ばかり、始終吉原であるとかまたその他の花柳界にて他の大名の留守居と出逢ふて用事を達する、現代で申せば外交官さういふわけで田舍侍ではつとまらぬといつた、この時にすらりと襖を開いてそれへ出て來たは森九郎右衛門

九『萬之助、貴樣の申すところは道理にも思はれる田舍侍ではこの役はつとまらぬと申したがそれは昔のことだ、今は世の中が變つて居る。留守居共が集會すればとて藝妓に酌を取らせる絃歌の聲を聞きながら酒にしたしむ時代は過ぎ去つた、我々が集まれば銘々の主人の國もとの政事につき議論をたゝかはせ、また德川家のおためにかうしては何うか何うかあゝしては何うかとそれらの協議を開く、さすれば貴樣のやうな田舍侍がよろしい、通人といはれた昔の留守居は今は用ひられぬ、世の中が變つたでな』

といはれて萬之助これには困つた

---

## 軍國をとめの心意氣
## 遺骨と結婚す
### 戰病死勇士の英靈を慰めて
### 飽くまで約束を守る

北支で奮戰中不幸病を得て病歿した勇士の遺骨と結婚するといふ非常時日本の女性にさゝぐる明眸一葉隱れ乙女の涙ぐましき軍國佳話がある——

佐賀縣三養基郡鳥栖町字東町井手兵藏君（二七）は本年三月專修大學を出て東京向島エムラス道路株式會社に勤務中、本年六月頃同君の母親タメさん（五十八）の從弟たる佐賀縣神崎郡蓮池町質屋兼農業牟田寛六氏（五四）方から同氏の長女で、一人娘である秋子さん（二二）を兵藏君の嫁に貰つてくれと申込みがあり、井手氏方では牟田氏方が數万圓の資產ある家柄なので釣合はないと斷つたがたつての申込みに遂に緣談整ひ本年十二月末頃華燭の典をあげることになつてゐたところ、兵藏君は突如去る〇月特務兵一等兵として勇躍出征し北支で奮戰中保定で

不幸病にかゝり小倉陸軍病院に後送された。秋子さんは兵藏君が鄕里から出征する時見送りに行つて始めて婚約中の兵藏君に面會し勇士を激勵したが、同君が小倉病院に收容されたのを新聞紙上で知り一月二十日頃面會に行つて歸宅するや、兵藏君は同月二十六日遂に病死した。當時兵藏君は死期が近づいたと知るや母親に賴んでトランクの底から日の丸の旗を取り出しこれを打ちふりながら『宮城はどちらですか』と尋ねるので母親が指さし示すと東方に向つて正坐し靜かに合掌をして何かつぶやくので

母親が何を言つてるかときくと『こんなからだで歸つて、天皇陛下に申しわけがないからお詫びをする』と答へ、軈て『これですつきりした皆笑つてくれ』と『天皇陛下万歲』を奉唱して瞑目したもので、秋子さんはこの死際をきいて感涙し一方『兵藏さんは死んでも自分は約束通り結婚して兵藏さんの靈を慰めねばならない』と決意して兩親に賴み改めて兵藏君の遺骨と結婚方を申込み、兵藏君の家族が『それでは秋子さんが可愛さう』といふのをきかずたうとう遺骨と結婚することがきまつて本月二十二日の兵藏君の

町葬を前に來る十七日頃結婚式をあげること、なつた。なほ秋子さんは佐賀淸和高女卒業後、同校の補習科に學び佐賀市元町の花柳須賀さんについて舞踊の稽古をつんだ町內でも評判の才媛である。

### 一生遺骨を護つて行く

花嫁秋子さん語る

蓮池町に牟田秋子さんを訪へば十七日に迫つて結婚時期を前に準備に忙殺されてゐたが『どうして知れたでせう』と顏を紅らめながらつゝしましやかに左の如く語つた。

兵藏さんには出征の時と小倉病院に見舞に行つた時二回お目にかゝつただけです、亡くなられても勿論結婚します、私は一生遺骨を護つて行きます既に出征される時から戰死は覺悟して當時兵藏さんに珠數を贈りました、結婚式は私の氣持さへ通すれば好いのですから簡單にやるつもりです、兵藏さんの體は朽ちても魂はこの世に永遠に存在してゐると思ひます、戶籍の事はまだ考へて居りません

秋子さんの母親ヒロさん（五三）は語る

▽……△

兵藏さんの家では最初はなか〳〵娘との結婚を聽き入れてくれませんでしたが到頭娘の心に動かされました、この結婚には東京にゐる私の弟の元早大敎授西川六郎（五五）が大變盡力してくれましたが親戚の者も皆贊成で私達も娘の意志通りにさせたいと思ひます

### お氣の毒で

花婿の母堂談

當の花婿故井手兵藏一等特務兵の母ためさん（五八）は語る

たゞ結婚の話が整つてゐたゞけで、秋子さんの將來を考へるとお氣の毒でたまりませんので解消して戴きたいと申込みましたが先方で聞き容れがないので目下東京の叔父（西川六郞氏）に問合せてゐます、叔父の返事次第で結婚式を擧げることになりませう

---

## 結婚のプレゼントはさて……何にしませう
### 眞心こめた記念となる品を

贈物はいつもおくる人の眞心——たましいがこもり生きた贈物でなければなりません、そして何時迄もながく記念として殘る樣なものを選ぶことです——若しおくり先が極く親しい間柄でしたなら初めに大体の金高などを打ち明けてどんなものが必用かと聞いた上でえらぶ樣にしますと、便利でお互ひに好いわけです、兎角日本人間では

**虚禮**に流れ外觀や体裁だけをかざり身分不相應となり勝ちの弊害がありますがこれは是非改善したいことです、あまり値段の張らぬ實用向時計等一番好いと思ひます、時計はいくつあつても重寶なものです、そして時間を見る毎におくり主を思ひ出すそしておくる時は裏側に記念の金文字を書いておくると云ふやうに、やはり永久に記念として保存し得らるゝものがよろしい、假令時計の樣に重寶でなくとも花瓶のやうなものでも思ひ出にはふさわしいと思ひます好く反物などを用ひますが長もちがしないばかりか

**柄物**に至つては人に依つて好き嫌らひがあります、序いでですから結婚のおくりものとは限りません、普通の場合によく日本人間では無地の黑つぽい切れをプレゼンテにする人を見受ますが、これはまことにブラジルでは愼しむ可きでお祝ひがお祝ひになりませんいづれも感心しません、台所用品なども新世帶には好ましいものです、其他記念ともなり重寶がられるものには花嫁ならブロツシヤ、ボルサ等で花婿ならネクタイピン、カフスボトンなど裝身具などがあります、なほ改めたいのは招ねかれて御馳走になるものその

**御馳**走は一人前何ミル位だつた、それで丁度それ位或ひはそれ以上の金高のものをおくると云ふやうな事です、おくりものは決して金高如何によらない、これでは心をこめた交際上の表象とは云へません、中には現金をおくる人がありますが親類とか極く近い關係に在る人々であつて若い新世帶をお祝がわりに所謂『補助してやる』と云ふ意味のものならかまひませんが、そうでない限りは失禮にあたるものと思はねばなりません、

△

之も亦たれもが頭を惱ます事ですが先方がお金持ちや目上のお方のところへは

**何も**持つて行かない事、でなければ次のやうにすれば結構です即ち花婿に花たばをおくることです、花束は高潔なばかりでなく又いくつあつてもお祝の席にはふさはしいものです、兎に角おくりものは眞心であり贈主目身の手で丁寧におくり度いものです

---

## ……春の東京より……

▽……△

大相撲春場所玉錦、武藏、双葉、男女の四横綱が出場すると云ふので、春場所は時局を外に、破れんばかりの大人氣である、初日の如き前晚十時頃から五千人の大衆フアンが押しかけて凍りつくやうな霜夜を明すといふ熱狂振だつた戰爭に强い筈である、初日は十三日で取組は十三日間、緣起をかつぐ相撲のことであるから、これがさしづめ伯國あたりだつたら、とても嫌ふことであらうが、所變れば品變るものだ、平氣である。その上大繁昌だ。話は脫線するが十三日は日本では頗る緣起がよいことになつてゐる。手近な所で日本軍が支那軍と衝突したのは七月七日であつたが愈々腰を決めて、積極的に反擊を加へたのは十三日だつた、西洋人は日本弱しと雖も十三日に戰爭を始めるのでは敗けるだらうと云つて居ると、ナンキンの完全占領が十二月十三日であつただから十三日は日本に取つては、素的に緣起のよい日である。

▽……△

洋服が素靜らしくなつたのは驚くばかり、中にはメインストリートあたりで見るヒリツピンが顏負のするやうなダンデー流の洋服青年も多い。が多くは品のいゝアメリカ型の洋服である、地も相當のもので、仕立技術も馬鹿にはならない、十年程前に歸國した時には英國流の洋服が一般に流行してゐた、コートが短くて、お尻がクルリツと出てゐて外國趣味スタイルと天地の差があつた、だから外國歸りは直ぐに、見分けがついたものだが、近頃は區別がつかない程洋服が內地人に板について居る、値段も種々雜多ピンからキリまである、卅圓位から五六十圓が普通である、オーバーコートでも十五六圓から廿四五圓出したらある、私は日本の外形がそんなに變つたとは思はないが、變つたものがありとすれば、洋服が普及したこと位のものであらう、勿論經濟力の膨張は看過することは出來ない思想は單に迷つてゐただけだ。洋服の普及はいゝが、モーニングの濫用も日本の一つの特徵であらう、夜の宴會でもモーニング、中には待合等へモーニングで行く奴もある。そうかと思ふとモーニングの紳士が立小便と來るから驚くといふよりも呆れてものが云へない。內地人が在伯同胞を呼ぶに、『移民』だとか『時代遲れ』だとか云はれない理由が此所にもある。

△（……）▽

---

## 徵兵檢査に現れた壯丁の體格と厚生省
### 憂ふべき國民體位の低下

永い間、近衛內閣の問題になつてゐた厚生省がいよ〳〵開店の運びとなつた、これは御承知のやうに國民保健衛生方面の事項を管掌するお役所で、保健社會省の名前で、その實現を急いでゐたものであつた、保健社會省が厚生省といふ名儀で生れ出たわけであるが、私が特に厚生省の誕生をとりあげた理由は、國民大衆の生活が如何に切端詰まつてゐるかといふことを端的に申上げたいがためである。軍部では、つまりもしない省が澤山あつても、かへつて邪魔になるからといふので、所謂省の癈合を斷行しその代り國防の見地から新に航空省を設置するの案を相當强調してをつたのである。然るに最近壯丁の入營體格檢査に現れる成績は年々惡化するばかりである、軍當局も非常におどろき斯くては廣義國防の建前から由々しき大問題であるといふので、航空省の設置を一時延期し、國民保健を確立すべき保健社會省の設置を力說するに至つたのである。これによつて見ると國民の體位が如何に低下してゐるかといふことが略想像がつくであらう、青白くてひよろ〳〵したのや、營養不良や、均整のとれてゐない、體格や、病氣の青年が甚だ多いのである、今回の事變においても應召軍人の中には心細いやうな體格の人を多く見受けたが、そのためであらう、中途から歸つて來た軍人もすこぶる多いのである。

▽……△

各學校でも運動は旺であるし、一般にスポーツは大流行で、スポーツを語らざるは時代遲れのやうにされてゐるほどに旺であるオリムピツクにおいても輝かしき成績をしめしてゐる斯くの如き情勢のもとにわが國の青年の體位が低下しつゝありと云へば、そこに大きな矛盾がなければならぬ、然しこれは矛盾でもなんでもない、持たざる國の惱みなのである、持たざる國が故の現象であると私は斷じたい。

新聞紙上や講演會において國民體位の向上について名士や專門家の御高見を拜聽したが、朝のラヂオ體操をやれとか座禪がよいとか營養食の研究をしろとか、空腹でこまつてゐる持たざる者には凡そ關係のない高天ケ原のノリトのやうなことを云つてゐる

▽……△

厚生省が生れて體育局長、衛生局長、豫防局長、社會局長、勞働局長、保險院長官等々の新しいお役人樣も出來たが、これがどれだけ國民保健、體位の向上に資するか、私は疑問に思つてゐる、しかしこれ等も無いよりは有つた方が望ましいことであるが、結局は大部分の人間に、うまい飯を食はすやうに工夫するのが根本問題である、然る後にラヂオ體操も、座禪も、厚生省もその機能を發揮するのだ、日本は資源が貧弱だ、少い資源を多勢で分けて食はうといふのだから、持てる者は困らぬが持たざる者は困る、北支、滿蒙或は南洋への進展が國民體位の向上——國民一般の幸福に寄與するところ大なるを思ふ所以である、政治家の一考を煩はしたいところだ

---

### 勇士の命日に
## 國防献金
### 衣類等を賣り

滋賀縣東淺井郡湯田村大路辻ひさのさん（四七）は二十年前に夫に死別し女の細腕で育てあげた杖とも柱ともたのむ一人息子の步兵伍長辻源之進君が上海戰線で名譽の戰死を遂げて全く一人ぽつちとなつたが『早く戰死したので源之進としては十分の働きが出來なかつたであらうが誠に申譯がない』と勇士の命日である三日自分の衣類その他身まはり品を賣つて得た金百圓を村役場に持參して『早く戰死してお役に立たなかつた息子源之進の代りに彈丸を戰場へ送つて下さい』と國防献金したこの勇士の母の美擧に岩崎村長はじめ村人はい[illegible]く感激してゐる

---

## 戰場のユーモア
## 燒き芋部隊……
### ——明朗あだ名ニュース——

【〇〇發】朝に夕に戰場の天空に勇躍する空軍の何と雄々しくも猛々しい姿、日の丸の銀翼大陸の陽に輝いて落とす蔭さへ敵膽を奪ふ、かくてわが北支の空軍は事變以來一日として休むことなく、空の征戰にたゞ精進して淚ぐましいばかりの活躍をつゞけてゐるのであるが、無敵空軍は戰線においてもいと朗かだ。根據地から根據地へ移りすゝんで行くたびごとに變る生活環境、そしてその間にいろ〳〵なユーモアが生れるのだ。

### 蜂の子部隊

北支戰場いたるところその機影を印せざるなく爆擊々々に勇猛を謳はれてゐる立花部隊に蜂の子部隊のあだ名がある。酷熱百三十度、水も沸く八月の事、北支〇〇を根據地として戰場の明け暮れを送る時ふと眼についたのは蜂の巢だいくらでもある〇〇根據地は事實蜂の多い所であつた蜂の子を燒いて食ふと何ともいへない味だ。夏から秋にかけて每日のやうに營舍からもれてくる蜂の子を燒く芳しい香ひがつひに島田部隊長の鼻にまで達して『立花のところはまるで蜂の子部隊だ』といつて以來『蜂の子部隊』の名が生れたのだ。

### 燒き芋部隊

河北省の中央部一帶は有名な芋の產地だ。坦々たる畑はすべて芋が作られてゐるのであつた。〇〇に進出した柴田部隊の空の勇士たちは戰場の無聊を慰めるに芋掘りに着眼した。それを燒いてはふう〳〵ふきながら頰張る。出動の前には先づ一ツ腹に入れて、更にほかほかするやつを飛行服のポケツトに入れて行くのだ。勇士たちにいはせると燒芋の熱いのを持つて行くと懷爐の代りにもなるし腹がへつた時には食糧にもなる。かくて柴田部隊の勇士は燒芋とともに戰場の空に活躍したのだ。

### もぐら部隊

山西省の攻略は地理的關係からもかなり難事であつたばかりでなく、山西省內には赤化分子が多く土民たちもなか〳〵油斷がならない有樣だ。空軍の一部が〇〇根據地にすゝんだとき幾度となく敗殘兵や土民の襲擊をうけ部落への宿營など思ひもよらず、飛行機の側を一步も離れることができない。そこで園田部隊、佐々木部隊、栗山部隊の精銳たちは飛行場の一隅に穴を掘り地下室を作つて敵の夜襲に備へつゝ、玆に寢起きして苦心活躍した。全くもぐらの生活だ。

### かうもり隊

武田部隊が〇〇根據地にゐるころから敵機が餘り出て來ないといふので每日々々大いに憤慨してゐる、それだけにいざ一度敵機が來たとなれば必ず擊墜してそのうさを晴らしてゐるが、我根據地に敵機が來るといふことはない。そこで根據地に待機してゐる連中は夕方になると警戒かた〴〵飛び出して薄暗い大空にぶん〳〵爆音を響かせてはうなる腕を撫してゐる、『夕暮になると飛び出すなんて蝙蝠ぢやないか』といひ出し、遂に『蝙蝠部隊』の異名となつた

### ジャンパー隊

愛國部隊、またの名ジャンパー部隊——青木部隊には二つの名がある、青木部隊は人も知る快足精銳を誇る獨得の存在を示すものだが、その所屬機は全部全國民愛國の結晶たる『全日本號』なのだ。そこで愛國部隊は當然だが、この勇士たちは一人殘らずジャンパーを着込んで颯爽たる姿でハンドルを握るのが常でいつとはなしにジャンパー部隊と決つてしまつた、その後空の戰線にジャンパー大流行、此の他に『くらま山部隊』とかいふ珍妙なのがある。

CAMBIO
CASA COELHO
Fundada em 1900

兩替

日本金、ドル及びリブラを他店よりも必ず御利益になるやう兩替します
一度お試し下さい
サントス市、プラツサ、レプブリカ、四五（マルチン、アホンソ、八〇番の角）
電話 二五〇二番
カーザ コエリヨ

同仁會地方醫局
醫學士 內田利藤次
プ、プルデンテ市

優良新種子到着御案內

皆樣種子ナラ日本ヨリノ直輸入濱岡商店ニテオ撰ビ下サイ

セボーラ種
カナリヤ型
リオグランデ型
日本種
聖護院大根
宮重大根
時無大根
青太胡瓜
節成胡瓜
丸茄子
瀧ノ川午ボウ
サクセツシヨン大葱
小松菜
白莖三ツ葉

以上ハ故國デ有名ナヤマト種苗ノ保証付嚴撰種バカリデス

新メリカード前
濱岡商店
聖市セーレス街百六郵函九九三

安瀬
ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL·300
ARAÇATUBA.N.O.B.

安瀬商會
本店 アラサツーバ市
事務所 精米所 珈琲倉庫
電話五四 郵函三〇〇
支店 アグアリンパ 內外雜貨 食料品 珈琲 フバ工場
支店 ヴアルパライゾ

法律飜譯呼寄歸化諸願書
辯護士公証飜譯人
座喜味盛德
聖市カルモ街一八番五階
七三一七五號室
電話二一四三五八番
郵函 三七三〇番